

(様式3)

連作障害確認表

記入例

自宅で保管

宮津市地域農業再生協議会長 殿

住所： 宮津市字 柳縄手345-1

氏名： 宮津 太郎

水張りした農地を記載

水張りした年度を記載

一反あたりの収量を記載

令和4~8年

番号	地名・地番	水張り実施年度	過去5年間の作物の収量 ※()内は作付作物					過去5年間における		連作障害によらず収量が低下している場合の理由
			令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	病害虫発生の有無	連作障害の有無	
1	字●●小字●●2003	R6	(きゅうり) 3,300 kg/10a	(きゅうり) 3,450 kg/10a	(きゅうり) 3,600 kg/10a	(きゅうり) 3,700 kg/10a	(きゅうり) 3,610 kg/10a	有・無	有・無	収量が低下した年と理由を記載
2	字●●小字●●2005	R6、R7	(トマト) 2,340 kg/10a	(トマト) 2,380 kg/10a	(トマト) 2,200 kg/10a	(トマト) 1,200 kg/10a	(トマト) 2,410 kg/10a	有・無	有・無	令和7年 鳥獣被害
3	字●●小字●●2120	R8	(トマト) 2,360 kg/10a	(トマト) 2,320 kg/10a	(トマト) 2,400 kg/10a	(トマト) 2,400 kg/10a	(トマト) 1,410 kg/10a	有・無	有・無	令和8年 害虫被害
4	字●●小字●●2110	R7	(トマト) 2,340 kg/10a	(さつまいも) 1,370 kg/10a	(エンドウ) 200 kg/10a	(きゅうり) 3,600 kg/10a	(トマト) 2,340 kg/10a	有・無	有・無	
5			()	()	()	()	()			
6	<ul style="list-style-type: none"> 水張りした農地の令和4年度～令和8年度の一反あたり収量 (kg/10a) を記録してください。 1つのほ場で複数作物を作付けしている場合は、その中で一番作付け面積が多い作物の収量を記載してください。 令和8年の記録が終わった後、過去5年間(令和4年～8年)の病害虫発生の有無、連作障害発生の有無を記入してください。 連作障害以外の理由で収量が低下した場合は、その理由を記載してください(鳥獣被害、自然災害、害虫被害など)。その場合は、それらを証明する書類(被害写真や、害虫対策の農薬購入書類など)を整備してください。 連作をしていない場合も、作物名及び収量の記録をしてください。 									
7										
8			kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a			

※ 裏面に注意点の記載がありますので必ずご覧ください。

【注意点】

- ・この書類は、令和9年度以降、過去5年間の収量の推移や病害虫の発生状況等から連作障害が発生していないことを確認するためのものです。
- ・水張りを行ったほ場のみ令和4年度～令和8年度の品目、収量を記載してください。
- ・この表の提出は不要ですが、令和9年度に提出を求める場合がありますので、必ず記録を残してください。
- ・一反あたりの収量 (kg/10a) (反収) は、以下の計算式で算出してください。

$$\text{反収 (kg/10a)} = \frac{\text{ほ場の収量 (kg)} \times 1000}{\text{ほ場の面積 (m}^2\text{)}}$$

- ・ほ場ごとの収量が分からない場合は、耕作者の全体収量で比較することも可。
- ・病害虫や連作障害の有無、収量等に関する根拠資料については、ご自身で保管してください。
- ・連作障害以外の理由(自然災害、鳥獣害被害等)により収量が減少している場合は、それらを証明する書類(被害写真等)を整備してください。